

# 最終報告レポート

## 第47期日墨戦略的グローバルパートナーシップ研修計画 見山達哉

### はじめに

メキシコから日本へ帰国して約1ヶ月が過ぎました。帰国して、はじめの週はメキシコでの習慣が抜けず、逆に多くのカルチャーショックがありました。

例えば、日本の丁寧な接客サービスに違和感を感じたり、レジ袋が有料になっていることに驚いたり、夜中にも関わらず多くの店が空いており、そして多くの人が出歩いていることに感動したり、改めて日本という国の素晴らしさを感じました。しかし同様に、友人や家族にメキシコという国はどのような国かを伝えるたびにメキシコもとても素晴らしい国であったなあと再び実感し、とても恋しい気持ちになります。

今回の留学では、新型コロナウイルスの世界的流行で影響を大きく受けましたが振り返ると充実した1年間であり、とても素晴らしい経験をさせていただきました。今回の最終レポートでは、この1年間を通して感じたメキシコという国の素晴らしさについてお伝えさせていただきたいと思います。

### そもそもなぜメキシコへ

私がメキシコへ留学を決めた1番の理由は、実践的なスペイン語を習得したかったからです。

大学では第二外国語の授業でスペイン語の授業をとっていたこともあり、もともとスペイン語圏の国に少し興味を持っていました。そこで、2年前に初めてスペインへ旅行をしたのですが、そこで現地の言葉で現地の人とコミュニケーションをとる喜びを知り、スペイン語圏の国にますます興味を持つようになりました。その後、自主的にスペイン語の勉強を始め、メキシコ、キューバなど他のスペイン語圏の国にも旅行し、現地の人とコミュニケーションを取るたびに、どんどんスペイン語圏の文化・言語が好きになっていきました。

しかし、大学ではスペイン語の専攻ではないので、大学の基礎的な授業と自習だけではスペイン語を上達させるのは難しく、少し行き詰まりを感じていました。そんな時に、このプログラムを見つけ、実践的なスペイン語を身につけるチャンスだと思い応募することになりました。

## メキシコの魅力

メキシコはとても豊かな国です。

アステカ、マヤ文明などの先住民の文化と植民地時代のスペイン文化が組み合わさり、ひとつの国の中に多くの豊かな文化が存在しています。かつて多くの文明が存在したことから、メキシコ各地には様々な遺跡があります。また、多くの文化が混ざりあっていることから、食文化も豊かです。地域によって多種多様なメキシコ料理があり、メキシコ料理は世界無形文化遺産にも登録されています。

国土は日本の 5 倍もあり、緯度も長く海拔高度に差があるため、多種多様な気候と自然が存在します。そのため、メキシコ各地では自然が作りあげた素晴らしい絶景を見ることができます。

そんな様々な魅力がある国メキシコですが、私はメキシコの 1 番の魅力はメキシコ人だと思います。

メキシコ人は明るくて、とてもフレンドリーです。正直、メキシコに来る前は、言語の問題よりも、日本人と異なり陽気で人との距離感がとても近いメキシコ人の中で馴染めるかが不安でした。しかし、現地で友人をつくり、メキシコ人に囲まれて生活していく中でメキシコ人の考え方、性格がとても好きになりました。また、同時にメキシコ人の生き方に大きな影響を受けました。

今回は、メキシコ人の魅力について詳しく書いて行きたいと思います。



## メキシコ人の魅力

### 寛容さ・オープンマインド

メキシコ人はとてもオープンマインドです。むこうでは珍しいアジア人にも関わらず、まるで私がメキシコ人であるかのように接してくれます。

例えば、私は今まで13ヶ国訪れたことがあります。たいていの国では私が外国人であることを見抜き英語で接客したり、話しかけてくれます。メキシコでも稀に英語で話されることもありますが、ほとんどの場合はスペイン語で話しかけてくれます。しかも、こちらは外国人であるにも関わらず、ネイティブ相手に話すスピードで話しかけて来るので、最初は理解するのに大変でした。しかし、まるで自分がメキシコ人かのように扱ってくれるおかげで、メキシコという国に受け入れられているようでとても居心地が良かったです。

また、メキシコ人は仲良くなるとすぐにフィエスタ（パーティー）に誘ってくれます。むこうでは、友達の子供、友達の彼氏・彼女も連れてくるのが普通なのでフィエスタには多くの人が集まります。そんな中で、外国人が私ひとりでも、メキシコ人は私が昔からの友人であるかのように話しかけ、フレンドリーに接してくれます。また、ネイティブ同士の会話で、わからなくて困っているときは、自分に話しを振ってくれたり、メキシコ人はとても優しいです。付き合いが短くても、まるで昔からの友人のように外国人も受け入れてくれるメキシコ人のオープンマインドや寛容さは、日本人はなかなか持ち合わせていないのでとても素晴らしいと思います。

正直、最初は日本人の友人と行くとき以外は言語などの不安からメキシコ人の友人からのフィエスタの誘いを断っていました。しかし、最終的には気づいたら外国人が自分ひとりでもフィエスタに行くぐらいメキシコ人との友人と過ごす時間がとても好きになりました。



## 愛情深さ

スペイン語には cariñoso (カリニョソ) という単語があります。直訳すると愛情深いという意味です。メキシコ人はとても cariñoso (カリニョソ) です。

コロナウイルスがメキシコでも本格的に始まり、友人となかなか会えない期間が続きました。そのような状況で、メキシコ人の友人から「大丈夫?」、「元気にしている?」という多くのメッセージを貰いました。付き合いが短くても、まるで昔からの友人であるかのように自分を心配してくれるメキシコ友人はとても愛情深く、とても素敵だと思います。

また、メキシコ人はとても家族を大事にします。

例えば、メキシコ人は日本人に比べ頻繁に家族と連絡を取ります。そして、仕事や友達との約束があっても家族での用事が入ったらそっちを優先します。

つまり、メキシコ人の価値観では家族・家族との時間は1番重要なものなのです。

日本人は、忙しいので家族との時間より仕事を優先することが多々あります。また、日本人の親は子に独立することを求めるので、子供が大きくなればなるほど頻繁に連絡をとらなくなり、家族全員で集まるのは元日くらいになります。日本人と比べると、メキシコ人は家族との距離がとても近いです。そのため、日常的に家族との絆や愛を感じているからこそ、メキシコ人は他の人に対しても愛情深いのではないかと思います。最初のほうは、日本とメキシコとの家族観や家族での愛情表現の違いに大きく戸惑いました。しかし、メキシコ生活になれるにつれてメキシコ人の家族愛はとても素晴らしいと強く感じるようになりました。そして、メキシコで生活する中で1番強く印象に残っているのが「日常的にハグをすること」です。最初、ハグ文化は日本にないため、なかなか慣れませんでした。しかし、時間が経つにつれてハグをすることで優しさや愛を自然と感じている自分に気づきました。日常的ハグをされると自分の存在が認められているように感じ、とても安心感を得ることができます。

日本は世界全体からみたらハグ文化のないマイノリティな国だと思います。そんな日本で育った私が、メキシコ人と日常的にハグをして、優しさを感じる事ができていたことは振り返ると素晴らしい経験だったと思います。

## 人生を楽しむ

メキシコ人の友人を見て、とても印象に残っていることはみんな人生を楽しもうとしていることです。

最初は、メキシコ人は陽気だからみんな楽しそうに生きているのだと思いました。しかし、メキシコ人の友人達と過ごす中で気づいたのは、メキシコ人は日常生活で嫌なことがあっても常にポジティブに考えようとし、必死で人生を楽しもうとしていることです。日本人は真面目な性格上、嫌なことがあると自己嫌悪に陥り、悲観的になりやすい傾向があると思います。そのため、メキシコ人の常にポジティブに考え、必死に人生を楽しもうとする姿勢は日本人も見習うべきだと思いました。

## 大変だったこと

1年間を振り返ると大変なことも多々ありました。例えば、語学学校を卒業して大学の学部集中しようと思っていた矢先にデモで学部が閉鎖したり、新型コロナウイルスの影響でスペイン語の授業がオンラインになったり、必要最低限な行動以外家から出ることができなくなったりと思い返せば多くのトラブルがありました。しかし、そのような状況の中でも、例えば新型コロナウイルスの自粛生活では友人にメキシコ料理を教わり自分でつくってみたりして、メキシコ人の常にポジティブに考える姿勢を見習って、留学生生活を工夫して楽しみました。

学部では興味を持っていたメキシコ経済を学ぶことはできませんでしたが、CEPE（メキシコ国立自治大学付属言語学校）でスペイン語のクラスを最終レベルまでやり、多くのテーマでエッセイを書くことで、自分のスペイン語力に自信をつけることができました。

振り返ると大変なことはあったもののとても充実した1年間だったと思います。

## これから留学される皆様へ

これから留学される皆様に伝えたいのは自分の殻に閉じこもらずに積極的にメキシコ人と友人関係を築いてほしいということです。CEPE（メキシコ国立自治大学付属言語学校）はスペイン語を学ぶための素晴らしい環境が整っています。しかし、語学学校なので良くも悪くも外国人コミュニティです。実際に授業で教わるスペイン語とネイティブが話すスペイン語はかなり違っており、やはりネイティブの友達をつくるのがスペイン語上達の1番の近道だと思います。

メキシコでは、1人でも友人をつくとそこからどんどん交友関係が広がります。また、メキシコ人はとてもフレンドリーなので、様々な場面で友達をつくることができます。例えば、メキシコ滞在中に良く遊んでいた友達はバーで知り合いました。日本では、そのような形で知り合った人とは疎遠になりがちです。しかし、メキシコ人の友人は昔ながらの友達のように自分に接してくれて、今でもとても仲がいいです。

スペイン語だけを勉強することは日本でもできると思います。しかし、現地の友人をつくることはメキシコでしかできないことなので、これから留学される皆様には是非積極的に友達をつくってメキシコ生活を楽しんでもらいたいと思います。

## 最後に

私はこの留学を通して、自身の価値観がひっくり返るような素晴らしい経験をさせていただきました。明るく、とても素敵なメキシコ人の友人に囲まれて生活していたおかげで、自分の人生の彩りがますます豊かになったように思います。

現在、メキシコが自動車産業の集積地として注目を浴び、多くの日系企業が進出しております。また、その影響で日本文化に興味を持つメキシコ人が増えています。そのことからわかるように、両国の様々な分野での交流は今後ますます盛んになると思われます。そのような国で、1年間を通して、現地の言語、文化、そしてメキシコ人の価値観を学べたことは大きな財産だと思います。今後は何らかの形で両国の関係に貢献できたらと思います。

最後になりますが、今回私を推薦し、1年間サポートしてくださった埼玉県国際課の皆様、外務省中米カリブ課の皆様、CONACYT の皆様に深く感謝申し上げます。

1年間、本当にありがとうございました。

